ROBOT AWARD

「ロボット大賞」

THE ROBOT AWARD

優れたロボットを表彰します

「ロボット大賞」は、我が国のロボット技術の革新と用途拡大及び需要の喚起を促すため、活躍したロボットの中から市場創出への貢献度や期待度が高いロボット、ロボットに関連するビジネス・社会実装、要素技術、研究開発及び人材育成を表彰する制度です。

※第9回ロボット大賞は、2020年4月から募集開始予定! (エントリーは2019年12月から開始予定)

第9回ロボット大賞 募集要項 (予定)

※募集要項(仮版)を12月に公表予定です。正式な募集要項・募集部門分野は2020年4月に公表予定です。(内容は仮版から変更になる場合がございます)

表彰位 (第8回 ロボット大賞のもの)

大臣賞
(経済産業大臣賞/総務大臣賞/文部科学大臣賞/厚生労働大臣賞/農林水産大臣賞/国土交通大臣賞)

全応募のうちそれぞれの大臣が行う政策上の観点から、最も優秀であると認められるロボット等に対して各大臣賞を授与します。

中小・ベンチャー企業賞
(中小企業庁長官賞)

中小企業及びベンチャーからの応募のうち特に優秀であると認められるロボット等に対して中小企業庁長官賞を授与します。

日本機械工業連合会会長賞

ロボット産業の振興において特に優れたロボット等に対して日本機械工業連合会会長賞を授与します。

優秀賞

各部門及び各分野において特に優秀であると認められるロボット等に対して優秀賞を授与します。

審査員特別賞

上記の他に、表彰に値するロボット等に審査員特別賞を授与することがあります。

部門

- ビジネス・社会実装部門
- ロボット応用システム部門
- ロボット部門
- 要素技術部門
- 研究開発部門
- 高度ICT基盤技術部門
- 人材育成部門

分野

- ものづくり分野
- サービス分野
- ICT利活用分野
- 介護・医療・健康分野
- 社会インフラ・災害対応・消防分野
- 農林水産業・食品産業分野

応募のポイント

ポイント1:既に市場実績のあるロボットのみでなく、研究開発段階のものであっても近い将来社会で活躍できる期待のあるロボットは募集の対象となります。
ポイント2:ロボットメーカーのみでなく、ロボットユーザー、ロボットシステムインテグレータもビジネス・社会実装部門などで応募が可能です。

★今までの受賞企業から、受賞したことにより、契約数の増、広告効果(知名度・ブランド力向上)、研究の発展・加速などに効果があったとの評価が寄せられています★

●2019年の募集は行いません。「第9回ロボット大賞」は2020年4月初旬より募集開始予定です。2020年度の実施概要が決定しましたら「ロボット大賞」ウェブサイト(https://www.robotaward.jp/)、『各種お知らせメール』にてお知らせします。「ロボット大賞」に関する情報をいち早くお知らせするメールの配信や、各種関連資料の送付をご希望の方は、「ロボット大賞」ウェブサイトよりお申込みください。

応募方法

1. **公式ウェブページから応募エントリー**
   エントリー期間(予定):2019年12月2日(月)~2020年6月5日(金)
2. **応募用紙をダウンロードし必要事項を記入**
3. **応募用紙とロボットの動作が確認できる動画データ等の資料を郵送**
   応募期間(予定):2020年4月7日(火)~6月5日(金)
4. **応募完了**

審査方法

1. **一次審査**
   (書類審査)
2. **二次審査**
   (現地調査及び応募者プレゼンテーションに基づく審査)
3. **表彰式**
   (2020年10月8日予定)

各種お知らせメール登録お申し込み受付中!

「ロボット大賞」 詳細は「ロボット大賞」ウェブサイトにてご覧ください。 ロボット大賞 検索

※2019年度の募集は行いません。2020年4月初旬より募集開始予定です。

「ロボット大賞」公式ウェブサイト http://www.robotaward.jp/
「ロボット大賞」運営事務局 E-mail info@robotaward.jp

共催 経済産業省(幹事)、一般社団法人 日本機械工業連合会(幹事)、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省

KEIRIN
このリーフレットは、競輪の補助により作成しました。

第１回～第8回ロボット大賞では90件の優れたロボット、部品・ソフトウェアが表彰され、社会の幅広い分野で活躍しています。

第8回 ロボット大賞

経済産業大臣賞／総務大臣賞

ZDT（ゼロダウンタイム）
ファナック株式会社

文部科学大臣賞

耐切創性式の柔剛切替グリッパ機構
「Omni-Gripper」
国立大学法人東北大学（田所・昆陽・多田隈 研究室）

厚生労働大臣賞

ウェルウォーク　WW-1000
トヨタ自動車株式会社／藤田医科大学（学校法人藤田学園）

農林水産大臣賞

完全自動飛行のドローンによる
「空からの精密農業」
株式会社ナイルワークス

国土交通大臣賞

土石流予測システム全体のイメージ図

ドローンを用いた
火山噴火時の土石流予測システム
国立大学法人東北大学 フィールドロボティクス研究室、
国際航業株式会社、株式会社イームズラボ、
学校法人工学院大学 システムインテグレーション研究室

中小・ベンチャー企業賞（中小企業庁長官賞）
ホタテ貝柱自動生剥きロボット「オートシェラー」を中核とする水産加工システム
株式会社ニッコー

日本機械工業連合会会長賞
自動搬送ロボット導入による料亭の接客サービスの効率化
がんこフードサービス株式会社

日本機械工業連合会会長賞
小型ロボット MotoMINI
株式会社安川電機

優秀賞（サービス分野）
パワードウェア ATOUN MODEL Y
株式会社ATOUN

優秀賞（インフラ・災害対応・建設分野）
コンクリート床仕上げロボット（T-iROBO® Slab Finisher）
大成建設株式会社
国立大学法人筑波大学

優秀賞（ビジネス・社会実装部門）
シミズ スマート サイト
清水建設株式会社

審査員特別賞
自動化基礎講座および
メカトロニクス技術者試験の推進
特定非営利活動法人自動化推進協会

「第8回ロボット大賞」受賞者アンケート調査

「第8回ロボット大賞」受賞企業・団体へ受賞後のアンケート調査を行い、下記の回答をいただいております。（12社・団体より回答）

「ロボット大賞」を受賞したことで、どのような効果がありましたか（複数回答可）

受賞者の声

- ロボットをお使いのお客様から多くの反響がありました。また、これからロボットの導入を検討されているお客様からも必要性をご理解頂くことができ、商談数や販売の増加に繋がっています。
- 見学などの申し入れがあり、異業種などへの波及を期待しています。
- 社外のみでなく社内へのアピールや開発メンバーのモチベーションが向上しました。
- 受賞者合同展示への来場をきっかけに、問合せが増加しました。
- 取引先からの期待値が上がりました。
- 研究関係者以外の方への知名度の向上に繋がりました。
- 学会誌や業界誌への投稿機会や問い合わせが増えて知名度向上の効果を実感しています。

第8回ロボット大賞時　共催・協力団体

共催： 経済産業省（幹事）、一般社団法人日本機械工業連合会（幹事）総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省

協力： 独立行政法人中小企業基盤整備機構、国立研究開発法人科学技術振興機構、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人情報通信研究機構、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、国立研究開発法人森林研究・整備機構　森林総合研究所、国立研究開発法人水産研究・教育機構、国立研究開発法人日本医療研究開発機構、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、公益社団法人計測自動制御学会、公益社団法人自動車技術会、公益社団法人精密工学会、公益社団法人日本食品科学工学会、公益社団法人日本船舶海洋工学会、公益社団法人日本べんとう振興協会、公益社団法人日本リハビリテーション医学会、公益財団法人テクノエイド協会、公益財団法人医療機器センター、一般社団法人i-RooBO　Network　Forum、一般社団法人映像情報メディア学会、一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム、一般社団法人人工知能学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人日本医療機器産業連合会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本建設機械施工協会、一般社団法人日本義肢装具学会、一般社団法人日本原子力学会、一般社団法人日本建設機械工業会、一般社団法人日本航空宇宙学会、一般社団法人日本コンピュータ外科学会、一般社団法人日本産業車両協会、一般社団法人日本食品機械工業会、一般社団法人日本人間工学会、一般社団法人日本農業機械化協会、一般社団法人日本農業機械工業会、一般社団法人日本包装機械工業会、一般社団法人日本UAS産業振興協議会、一般社団法人日本リハビリテーション工学協会、一般社団法人日本ロボット学会、一般社団法人日本ロボット外科学会、一般社団法人日本ロボット工業会、一般社団法人ライフサポート学会、一般社団法人林業機械化協会、一般社団法人日本生活支援工学会、一般社団法人日本計量機器工業連合会、一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人日本電気制御機器工業会、一般社団法人日本食品工学会、一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、一般財団法人橋梁調査会、一般財団法人先端建設技術センター、社会福祉法人全国社会福祉協議会、特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構、建設無人化施工協会、農業食料工学会、ロボット革命イニシアティブ協議会 ※60団体。順不同

「ロボット大賞」運営事務局　TEL：03-5644-7298　E-mail：info@robotaward.jp